

## 目5行レシピ<チラシづくり編>

目線の誘導のルールをしっかりと理解して、わかりやすい誘導をこころがけましょう。誘導ができていない紙面は、「読んでもらえていない」と思った方がよいかもしれません。

目線を誘導するルールには、大きくふたつあります。Z型とN型です。簡単にいうと、横書き（Z型）と縦書き（N型）の読む流れと同じです。

ということは、「横書きの場合は左上」、「縦書きの場合は右上」に一番最初に目線がいくこととなります。

(1) 最初に何を書いていますか？

(2) 最後まで読んでもらえるようにしっかりと目線の誘導ができていますか？

以上のような視点で、一度紙面を見直してみることが重要です。このことを意識できていない紙面は実に多いんです。横書きと縦書きが混在しているレイアウトの場合は、特に注意しましょう。



### 【Q】住民活動に関わるきっかけは何ですか？

【A】私自身が、野外活動が好きなので、子どもたちの環境学習や野外キャンプを企画し、実施しています。自分が楽しみ、参加者も喜ぶことが、活動の原動力です。

### 【Q】活動にかかる資金はどうしていますか？

【A】ボランティア活動や住民活動などには、いろいろな資金調達方法があります。

例えば、会費や寄付金、事業収入や参加費、補助金や助成金など。収入の安定性や、使う時の自由度、活動に活かすコツ、申請書の書き方など、それぞれの特性を知ったうえで、用途に合った

### ◎支援室メンバー紹介

方法を選択することが大切です。

私の自然体験プログラムでは、参加費と助成金を組み合わせて活用しています。支援室で、資金調達の相談に乗ることもできますよ！

◎この相談に答えたい人  
二宮克美（非常勤スタッフ）

◎興味関心  
アウトドア、超高齢社会、ロードバイク、カフェ

◎町の好きなところ  
市民活動が活発で、多彩な人が多いところ。



まちづくり支援室は、住民活動を支援し、志免町と町民の皆さんとで協働したまちづくりをすすめるために設置された施設です。専門のコーディネーターを配置し、NPO やボランティアに関する情報を発信するとともに住民活動に関する相談やアドバイスを行っています。



### ■支援室からのお知らせ

●4月28日に、支援室登録団体の更新説明会&交流会を開催予定です。詳しくは、団体宛にお知らせいたします。

●まちづくり支援室17時以降の利用については、3日前までに予約が必要です。詳しくは、まちづくり支援室までお尋ねください。

★次号<Vol.10>は2016年6月発行予定です。

- 発行：志免町まちづくり支援室
- 発行日：平成28年（2016年）3月31日
- 編集：NPO法人メディアイド
- 住所：〒811-2244 福岡県糟屋郡志免町志免中央1-3-2（生涯学習1号館内）  
TEL：092-936-8626  
FAX：092-936-8626  
E-mail：collabo@town.shime.lg.jp
- 開館時間：9：00～22：00  
（17時以降に利用希望の場合は、必ず事前予約が必要）



# The 志免町まちづくり支援室

2016.3.31

## Vol.09

### レポート

## それぞれの立場から見直すきっかけにボランティア中級講座

社会福祉協議会が主催する、ボランティア活動者向け「ボランティア中級講座（全3回）」が1月に実施されました。講座では、ボランティアの基礎を確認すると共に、未経験者や初心者へボランティアの基本やマナー、そして魅力を伝えられるようになることで、これからの活動を充実させることを目的としました。

### ■「あなたが楽しそうだから、一緒にやってみたい」と言われる活動者になろう！

第1回目は「ボランティアという同じ言葉でも、受け入れる施設の方と活動者と未経験者の間では、それぞれの持つ“ボランティア像”が違っているかもしれません」から始まりました。

活動をふりかえり、「どうしてボランティアをしているのか？」「長く楽しく続けられているのはなぜ？」について考えました。新しい仲間、同じように活動を続けてもらうために大切なのは活動しているひとりひとりの「姿勢」。「新しい人が入らない」と嘆くよりも、身近な

### <本号の内容>

- ★【レポート】ボランティア中級講座
- ★【登録団体レポート】超高齢社会をどう生きる!?
- ★【登録団体レポート】乳幼児と中学生の交流会 ほか



▲支援室とメディアイドが講師を務めました

人が「わたしもやってみたい!」と思えるような活動者であることが、活動の仲間を増やすために重要なポイントです。

### ■ボランティア活動だからこそ気を付けたいマナー

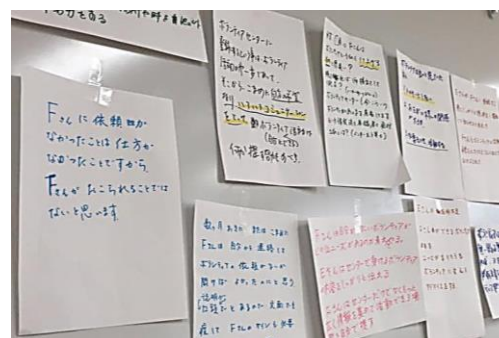
ボランティア活動で、普段どんなことに気を配っていますか？仕事でなくても守るべきマナーがあり、無償で活動していても“してあげている”わけではありません。

第2回目は、実際に起きてしまったトラブル事例をもとに、どこに配慮すべきか、初心者にとってどうアドバイスすると良いか、検討しました。活動に慣れても、“ボランティアだから”の視点を持ち続けることが必要です。

### ■「がんばることの意味」話していますか？

最終回は、ボランティア活動者が知っておくべき社会の動向や、ボランティアが陥りやすい問題と解決方法などについて学びました。また、全3回の講座を踏まえて、活動者自身が活動をつづけることの意味や、これから参加する人や未経験者に対して活動の魅力をどんな言葉で伝えられるか、じっくりと考えました。

講座を通して、志免町のボランティアの力をもっと高めるためには、輝いているみなさんの姿を伝えることが大事だと感じました。（牛嶋）



▲事例をもとにボランティアに求められるマナーを検討しました。